



発行 日本共産党 春日部市委員会 春日部市中央 7-10-9 電話 736-9933 FAX 736-9991

土地公社健全化へ第一歩

3月定例市議会 「代替地買い戻しに4・3億円」

3月定例市議会に一般会計補正予算が提案されています。その中に、春日部市土地開発公社が長期に保有する土地(約4万6645平方メートル)のうち、事業が予定されていない公共施設用地代替地2万144平方メートルから、栄町3丁目など約2789平方メートルを4・3億円で市が買い戻す予算が計上されています。

利息払い25年間で122億円

バブル期に借入金で土地を大量に購入。平成元年から25

年度までの利息払いは約122億8千万円にのぼります。(土地取得特別会計分を含む)

公社終息に向け 着実に買い戻しを

最高時300億円を超えた長期債務残高は、現在約100億円。道路などの事業化や、土地取得特別会計への付け替え(83億円、返済27年度終了)などで減らしてきました。日本共産党は、安い金利の導入や、一般会計での買い戻しなどを提案。代替地約50億円分も毎年4〜5億円ずつ買い戻し、

公社解散をと求めてきました。今回その一部を予算化した。たもの、25年度末残高見込みは約99億円となります。

土地開発公社・土地取得特別会計借入利息額 (平成元年度～平成25年度) 単位:円

年度	借入金利息	年度	借入金利息
元年	212,302,136	14	306,579,948
2	331,210,161	15	278,594,575
3	660,856,631	16	263,099,250
4	1,149,278,033	17	230,726,175
5	1,272,744,554	18	217,581,757
6	1,152,404,483	19	240,898,873
7	973,884,249	20	249,983,000
8	660,542,427	21	193,391,483
9	598,626,975	22	169,616,169
10	598,078,278	23	169,192,000
11	484,127,870	24	103,735,000
12	429,572,463	25	85,987,837
13	363,416,350	計	11,396,430,677
土地取得特別会計分			883,537,327
土地公社と特別会計の合計			12,279,968,004
年平均額			491,198,720

あ然！ 8億円給付に事務費2億円超。安倍政権の経済対策

26年度一般会計予算に、安倍政権が行う消費税増税対策として低所得者を対象に行う臨時福祉給付金(一人1万円〜1万5千円、対象者4万4千人)と子育て世帯臨時特例交付金(一人1万円、2万6千円)計8億3千万円が計上されています。1回限りの給付に、システム開発8千万円、申請書印刷代・郵送料6千万円、人件費など計2億4741万円余りがかかる予定です。

松本ひろかず議員一般質問

新市立病院の 救急受け入れ拡大を



4日、松本ひろかず議員は、①消防職員を増員し、消防・救急体制の拡充を、②新市立病院の救急受け入れ拡大を、③住宅リフォーム助成制度の早期実施を、の3点について一般質問をおこないました。

消防職員は国基準 なみに増員を

昨年11月11日、備後東2丁目の大火災では、市の消防から17台、消防団7台、越谷市消防から1台、吉川・

松伏消防から1台、計26台もの消防自動車が出動しました。

火災発生現場から最も近い備後分署、豊野分署は、

それぞれ救急出動していたために、分署には分署長も含めて4名しかおらず、それぞれ消防自動車1台しか出動できませんでした。

(各分署2台配置)

消防職員282名は、国基準370名に対して充足率76%、条例定数298名に対しては94.6%となっています。

松本議員は、「消防職員の条例定数を国の基準なみに増員し、十分な訓練と経験を積むことをしなければ、今後予想されている災害に

対応し、市民の生命と財産を守るができない。」とたどしました。

市長は、「消防職員は、市民の生命・財産を守るといふ崇高な役割を担っています。今後も消防力の低下を招かないよう計画的な採用と育成に努めていきます」とこたえました。

救急車、受け入れ 先の照会で苦勞

重症以上の救急搬送で、春日部市は30分以上の現場滞在割合が30.2%、照会回数4回以上の割合が21.4%と県内でワースト1位となっています。(県内下表)

松本議員は、「救急医療は、市立病院の重要な役割のひとつ。新市立病院ではなるべく多く救急受け入れができるよう」求めました。病院事業管理者は「救命

救急医の確保に努め、少しでも多くの患者の受け入れをめざしたい」とこたえました。

重症以上の救急搬送状況

(2012年度 埼玉県 搬送数 23,225人)

- 救急車が現場に滞在する時間
 - 15分未満 29.1%
 - 15分～30分未満 54.2%
 - 30分以上 16.7%
- 救急医療機関受入れ照会回数
 - 1回 69.5%
 - 2回 13.7%
 - 3回 6.7%
 - 4回以上 10.4%

住宅リフォーム助成 制度の早急な実施を

市長は「市民が安心・安全で暮らせる良好な住宅を確保していくことは重要な施策と捉えています。国で検討がすすめられていますので、今後とも国の動向を注視していきたい」とこたえました。

市立病院 Ⅱ 735-1261 (土・日・祝の昼間と夜間毎日) 内・外・婦 小児救急電話相談#8000

3/9(日) 桑島胃腸科・肛門科(胃・肛・外・内)大枝 Ⅱ 735-0001 庄和中央病院(内)上金崎 Ⅱ 746-3122

いぶきこどもクリニック(小)大枝 Ⅱ 735-0845 山崎整形外科(整・リハ・リウ)牛島 Ⅱ 763-5001

3/16(日) ほそや内科医院(内・循)下大増新田 Ⅱ 733-5200 さくら皮膚科(皮・形成外)中央 Ⅱ 760-4112

神田医院(小・内・アレ)上蛭田 Ⅱ 754-0845 館浦整形外科医院(整・リハ)永沼 Ⅱ 746-4832